

であいこうか

女性初の信楽焼伝統工芸士

まつ よし き み こ
松吉希美子さん



松吉さんは今年3月、女性として初めて信楽焼の伝統工芸士に認定されました。この資格は、伝統的工芸品産業振興協会が特に技能の優れた伝統技能を持つ人物を認定するものです。

◆陶芸を始められたきっかけは？

実はトルコに旅行に行ったことが、初めて陶芸に触れるきっかけとなりました。あちらで見かけた陶器に魅せられ、そのまま住み込みで、絵付けのお手伝いをしていました。

◆それまで陶芸を学んだことはなかった？

はい。帰国してからしばらくは、展示の勉強をしたと思い陶芸とは関係のないお店で働いていましたが、窯業技術者養成研修の存在を知り、一年間デザイン科で本格的に学ばせていただきました。

その後またメキシコに渡り、滞在した2年間の内半分くらいを向こうで知り合った作家さんの家で陶器を作ったり、路上でそれを販売したりして過ごしました。スペイン語を話せなかったのが、言葉を覚えるのが大変でしたね。

◆では、主にフリーで活動を？

猫や、オオサンショウウオをモチーフにした器やキーホルダーのような小物を作っています。特に、オオサンショウウオは丸いフォルムに小さな手足がかわいいので、色んな作品を作っていますよ。

これからも、見た人が少しでも癒しを感じてもらえるような作品を作っていきたいと思っています。



▲オオサンショウウオのオブジェを製作中

吹奏楽部が大セッション ユース・プラス・フェスティバル2013

舞台、通路を
埋めての大合唱



ドを即興で指揮し、また全生徒参加の大合唱がありました。生徒たちは「いつもは別々に演奏しているみんなが一つになった経験は宝物」と、この日一日だけ実現したセッションに興奮していました。

市内7つの中学校吹奏楽部による演奏会「ユース・プラス・フェスティバル」が6月8日、あいこうか市民ホールで開催され、約700人の観客が演奏を楽しみました。この催しは、水口ロータリークラブが青少年の育成を目的に主催しており、今年で4回目です。今回は、紅白歌合戦で歌われた合唱曲「あすという日」の作曲など有名な八木澤教司さんが参加しました。各学校が各々演奏を発表した後、同氏が7中学校の3年生合同バンドを即興で指揮し、また全生徒参加の大合唱がありました。生徒たちは「いつもは別々に演奏しているみんなが一つになった経験は宝物」と、この日一日だけ実現したセッションに興奮していました。

初夏の風物詩ササユリの再生を

滝区ササユリの里作り

「滝区ササユリの里作り」主催のササユリ観賞会が6月8日、同区梅垣城跡周辺で行われ、市内外から約200人が参加しました。この事業は市が市民協働事業として、また甲南高校や地域の子どもたちも連携して取り組まれているもので、区長の渡辺健三さんらが中心になり、少なくなったササユリの再生と、事業を通して力を合わせることで地域の活性化を目指しています。観賞会では、少しずつ再生を始めたササユリをカメラやビデオで撮影する方、昔を思い出しお話しされる方など、今は余り見られなくなった初夏の風物詩の姿を思いおこしに楽しんでいました。

ササユリを写真に
収める参加者



元気なまちかど

上級生らが「オペレッタ」の制作プレゼン

県教育長へき地学校訪問

6年生の計画発表に
見る児童と視察団

県の教育長や関係者らが5月30日、多羅尾小学校を訪れ、全校児童10人による同校恒例行事「オペレッタ」の制作プレゼンテーションを観察しました。これは、6年生が練り上げた素案を下級生のみならずに発表するもので、画用紙で作られた資料がホワイトボードに次々に貼りだされ、計画が明らかにされていくと、そのたびに一同から歓声があがりました。熱気に包まれる会場で児童たちの様子を見守っていた視察団も、次第に児童たちの様子に引き込まれていき、上級生の堂々とした発表と、それを熱心に聞く児童らに「頼もしい」と目を細めていました。



料理を
セッティングする
本田さん



信楽の器と人気料理家がコラボ

しがごはん

信楽焼の器と、福島県出身でテレビ番組や料理雑誌などで活躍中の人気料理家・本田よう一さんが協力するイベント「しがごはん」が5月29日、信楽町長野で行われ、陶芸作家や陶業関係者約25人が参加しました。本田さんは、福島県の産品を使った創作料理を各地に届ける企画を展開しています。会場の大テーブルに所せましと並べられた18種類の料理には、市内をはじめとした滋賀の名産が使用され、信楽焼の器を美しく引き立てました。参加者の一人は「器だけでなく、料理と一体となった姿も信楽発で発信していきたい」と、これからの食と器の共演に意欲を見せていました。

測量技術の正確さに感動

「測量の日」体験学習

県測量設計技術協会が主催する測量体験学習が6月4日、大原小学校で行われ、6年生41人が参加しました。この企画は、同協会が子どもたちに測量技術の興味を持ってもらうと、一年に一回ずつ県内小学校で実施しているもので、今回で3年目です。この日は、県内の9つの測量会社から23名の従業員が来校し、自分の歩幅をものさしにする「歩測」から、機器を使った測量など5つの体験コーナーを設置、また国土地理院の先生が地図と測量について授業を行いました。児童らは「色んな方法で測ることができておもしろい」「こんなに正確とは思ってなかった」と普段触れることのない機器や、測量の計算に夢中になっていました。



友だちの身長も測量